

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は正面玄関や会議室の目につく場所に掲示している。職員は、ネームプレート内で常に身に着ける事で、意識・実践できるよう心掛けている。また、毎月行っている「生活支援会議」で、グループワークを行い、理念に込められた意味について理解を深めながら、意識付けを行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入し地域の案内をもらっている。コロナ禍による、規制と緩和を繰り返しているが、地域へ広報紙の配布や公園整備に職員が参加をさせてもらいかかわる機会をもっている。事業所の出入りや通勤の際の挨拶も意識的に行っている。	・所在不明時には、時間がたつほど範囲が広がりがりリスクが増えていく。近くにいるんじゃないかと思っても出来るだけ早く警察に伝えてもらいたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	民生員、行政、消防、警察、家族代表、地域住民で構成され、利用状況や地域状況等の話し合いを行っている。感染症対策を講じながら対面での会議を開催しており、情報と意見交換ができています。家族へは書面でお伝えをしているが、会議の内容を全職員への伝達が不十分であった。	・外出が増えると思うが施設の利用している方とわかるように靴などに名前、施設名が書いてあれば連絡が付きやすい。 ⇒お帰りつばメールに登録してあれば登録番号の入ったシールが貼ってある。お帰りつばメールの登録情報は包括支援センターや行政と共有されているため参考にして頂けたらと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営や介護保険に関する最新の情報をメール等で連絡をもらっている。介護認定更新や区分変更を行う際に相談等を行っている。また、重大事故の報告を行い状況や改善に向けた相談をしている。	・市からは介護保険制度にかかわる情報及び申請について適宜対応している。 ・自然災害について、事前の予測も含め最新の情報を頂き、事業所と在宅生活者への安全確認ができた。 ・酷暑から地域住民の熱中症への心配があり、公共施設を活用した「おやすみ処涼館」をカフェスペースを利用してコロナ過で制限があるが設置した。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を定期的な開催と不適切なケアについて毎月ユニット会議で振り返りを行っている。行動制限となるような声掛けがないか、居室や玄関の施錠の制限がないか確認をしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人によって感じ方はあるかもしれないがしっかりとやれていると思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止検討委員会で定期的に検討している。虐待防止について研修等で理解をし、不適切なケアが無い職員間で確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修等で権利擁護に関して理解を深めているが、成年後見制度や日常生活自立支援事業を深く学ぶ機会や話し合う機会はない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約を締結する際は契約書、重要書類説明書を基に担当者が分かりやすく説明し不安や疑問点がある場合は丁寧に説明し同意を得ている。利用料金の変更やサービス内容の変更等があった際は説明し理解・納得を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月初めに、予定やお知らせを伝え、生活の中で意見や要望を話す機会である「ご利用者の会」の開催ができていない月も増えている。ご家族の来園機会も制限があり、直接聞ける機会が少なくなっているが、電話やメール等で意見を聞いている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。ご利用者の会の開催を課題として次年度取り組んでほしい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課や職場風土委員会等意見が出せることはあるが、反映されている印象は少ない。直接、管理者へ意見や提案する機会がないように感じる			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人として働きやすい職場づくりに向けての取り組みをしている姿勢は感じるが、能力に応じた給与水準や夜勤勤務ができる職員数など改善できる点はあると感じる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。もっと働きやすい環境になると良いと思うがなかなか難しいと思う。職員不足と聞くことが多い 何とか改善するようにして欲しい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業務内での研修が出来るように動画研修を取り入れている。法人研修など計画的に研修機会を設けているが、外部研修や職員一人ひとりの力量や希望に合わせた研修機会が少ない。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定例地域ケア会議、事例検討会等に参加し、ネットワークづくりや勉強会などの活動を通じ、サービスの質の向上に取り組んでいる。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の意見を尊重し過ごしたいように過ごして頂いている。生活の中で役割を持ってもらったり、ご利用者が主となりお互いが支え合えるような関係性を築けるよう心掛けている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行きつけの床屋や美容室、通い慣れた店へ行くなどしている。遠方や行き来が難しい時には、手紙や電話などを使用している。また、日常の話などから馴染みの場所や人などの情報を聞き様式に記録している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナで面会できない中でラインに登録することで写真をもらったり、何よりも動画で状況を伝えてもらえるなどどんな感じで生活しているかが実感できてとてもありがたいと思っている。 利用者全員が登録をしてそういったことができるのかはわからないが、連帯感が生まれ関係が希薄にならずにとっても良い取り組みだと思います。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の会話や何気ない話からも思いや意向を聞いている。定期的にかンファレンスを開催し本人の希望や意向を聞いている。ご自分の思いが上手く伝えられない方にはこれまでの生活歴や日々の様子から思いを汲み取るようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者が中心となってセンター方式を活用し聞き取り計画作成担当者と協力して介護計画を作成している。カンファレンスには本人も参加しご家族には事前に意向を確認しプランに反映している。反面カンファレンスに参加する職員が少ない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員で本人の言葉や思いをケース記録に残している。新たな発見や気づきは、申し送り職員毎に見て確認をしている。介護計画書は、3か月ごとに評価をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状況の変化時は、送迎や受診の付き添いも含め迅速に対応できている。介護方法の使用や身体機能の評価は、専門職へ情報を伝え相談をしている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域(町内会)の理解と協力もあり、地域の案内や情報をもらうなど、地域での生活を感じながら暮らしができています。市日や買い物に出かけるなどしている。	コロナ禍ということを考えると出来ていないかもしれないが仕方がないことではないだろうか。しかしその中でも運営推進会議等を含めて出来ることはやっていると思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医への受診を継続している。状態や受診方法等から事業所の協力医や事業所近隣の医療機関に変更される方もいられる。状態変化時や相談など、かかりつけ医と連絡を取り合い、協力関係を築けている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時は医療ソーシャルワーカー、ご家族と連絡を取り合い、早期退院ができるよう情報交換をしながら調整をしている。退院後は入院前の生活に近づけられるよう、現在の状態を考えながら受け入れ準備を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、事業所での看取り支援についてご本人、ご家族へ説明を行っている。早い段階で終末期についての意向確認が難しいこともあり、ご利用者の状態変化に合わせてご家族、主治医など関係者と話し合い「最期までその人らしくられるよう」チームで取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地元に住んでいる先生がいない中良く出来ていると思う。これからも頑張ってほしい。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	応急手当やAEDの使用方法、具体的な対応等について研修をしている。救急要請時には、救急隊への情報提供がスムーズに行えるよう「救急隊引継ぎ用紙」の備えや、緊急時のフローチャートの整備をしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災委員会を中心に、火災や地震、水害などを想定した避難訓練を実施している。事業所が福祉避難所ともなっており、地域の総合防災訓練に参加をしている。	・燕市総合防災訓練を実施 ①シェイクアウト②地域避難所③燕市支援物資搬送訓練	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉遣いには、注意しているがトイレの場面などでプライバシーを害してしまっていることもある。職員間での利用者にかかわる話、声の大きさなど注意していても出てしまうことがあり、定期的に確認とお互いに振り返りをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の予定を伝えながら、ご利用者の意向や希望を大切にしている。決められた時間ではなく、その方のペースやその日の体調や気持ちに合わせている。ご自分から言えない方は、声掛けをし反応や前後の様子から無理ないようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的な献立は決まっておらず、その時の食べたいものや季節の食材を取り入れるようにしている。下ごしらえや味見、片付けなどご利用者と一緒に行っている。調理の音や匂いも感じていただけよう心掛けている。管理栄養士が定期的に献立チェックをし、栄養や食材バランスなど評価している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	咀嚼、嚥下状態を評価しながら、美味しく食事や水分が摂れる様に形態や内容の工夫をしている。十分な食事、水分量が摂れているか確認し、必要に応じて記録をし足りていない方には、声掛けや介助をしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアの声かけを行い、自分でできる力を大切にしながら必要な支援を行っている。入歯を使用されている方は夕食後に洗浄し口腔内の状態の維持にも努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分から言えない方は、仕草や、排泄間隔から、トイレの支援や下剤の調整を行っている。便秘傾向の方もいられ、乳製品や水分を摂ってもらうなどしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の入浴や夕食後の入浴はしていない。入浴の間隔を見て職員の方で予定を立て、ご利用者に確認している。その日だけでなく翌日のこともある。デイサービスの方や用事等で入浴ができなくなる場合もある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の生活習慣やリズムに合わせて、リビングで過ごされたり寝つきが悪い時は話を聞いて一緒に過ごすなどしている。起床も遅めの時もあれば、季節によって早く起きられることもある。日中も体調や疲労感を気にかけて、休息時間を取ってもらっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人毎の薬ケースを使用し、薬情報書を掲載し、名前・薬名・数量が確認できるよう工夫している。毎食後に、服薬状況を複数の目で確認をしている。大きな課題として、確認不足や認識忘れから未配薬の事故が無くならない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	未配薬の事故報告があるのでは仕方ないと思う。 薬は一回くらいなら飲まなくても大丈夫なのか？⇒事故が起こるたび看護に連絡し配薬すべきかどうかの判断をもらっている。事故を起こさないのがやはり課題だね。仕事の大変さは分かるが、確認不足から起きている。防げる事故でもあるので、より具体的な改善をはかり減らす努力はしなければならぬでしょう。ゆえに「できていない」評価になると思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の生活歴や趣味、やりたい事等を確認し、日々の中で実施できるようにしている。内容としては、食事準備や、掃除、塗り絵、会話等、喜びや張り合いのある生活が送れるよう支援している。	事業所で全部したいとは思いますがメインの食事を他で用意してもらい、小鉢のようなものを作る程度でもよいのではないかと思いますがいかがでしょうか。大きな事業所で作ってもらってもいいのではないかと思いますので検討してみてください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブをしながら、近隣の公園や観光地へ出かけている。自宅への希望があれば一緒に出掛けている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身のお金を自己管理していただき、買い物や移動販売等でご自分で選んだり買い物をすることができている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望が聞かれた際はもちろん、ご家族や親せき、知り合いの方へ電話もしている。家族からも電話があり、直ぐに話せるようにしている。行事やトピックスがあった際には、メールに写真を添付し様子が伝わるように送っている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示物や季節の装飾などは、見やすい高さや混乱や不安にならない様に配慮している。空調や室温、湿度など職員の間隔ではなくご利用者に不快感がないように注意している。 廊下に写真を飾るなどして、お互いに見て楽しめるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご自分の思いを言ってもらっている ・遠慮もあり本心でない事もある為、しっかりと聞き取りを行う ・思いをはっきりと言えない為、職員の思いにならない様に考えることが必要			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・思いや希望を聞いているが、記録が不十分と感じる ・本人、家族からも情報を聞いている ・長年毎月されている習慣を家族と一緒に続けている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎日バイタル測定し変化がないか確認している ・定期受診や主治医に状態報告し医療とも連携をはかっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・その方のペースに合わせている ・お部屋も、馴染みの物がありこれまでの生活に近づく様にしている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・居室には馴染みの家具やご家族との大切な思い出の写真を置いている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個室の中で対応出来ている。 今後の事になるが、利用される人の弱年齢化やネット環境などが今は当たり前なので必要になってくるのではないかとおもう。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・外出機会は少なくなっていると感じる ・地域祭りや観光地に行けるようになった ・ご自宅への外出、外泊もされている	・他の事業所でも祭りなど予定があったが感染症対策の為中止となったが写真を見る事で皆様の笑顔が素敵だと改めて思いました		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・できない部分やわからない事もあり役割を持ってもらう機会が減っている様に感じる。そのことへの支援やかかわりが少ない事も課題と感じている ・全てでなくても、できることを一緒にして楽しみや自信になるかかわりをしている			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご利用者同士の話も少なくなっており、職員が間に入って話の橋渡しをしている		A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・近所への散歩から挨拶等を日常的に行っている ・まだまだ、地域や外部の方の出入りや出ていく機会が少なく十分な交流ではないと感じる	・子供会の模様し物は自分も楽しみにしている。お互いに楽しめたらよいと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人参加のカンファレンスでは、「よくしてもらっている」「幸せ」「ありがとう」「みんな温かい」「安心」「ここは、みんながいる」と言葉をもらっている ・職員の顔、名前を覚え楽しそうに話をされている ・グループホームで安心して生活を送れるようご利用者、職員の関係性を日々構築している ・ご利用者同士の繋がりも見られ良い関係性が築けている	・家族がお世話になっている際にも食事に連れて行っていただいたりするとすごく喜んでいた。	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価通りで良い。